

支部だより

令和6年4月
第99号

設立60周年、祝！

“十年一昔”・・・時として使いたくなる言葉ですね。十年ごとに新しい何かが生まれているはずですが、TV新聞による有名人の訃報がその雰囲気醸し出すのみで、時代は単に同じ事の繰り返しかと感じています。”戦争を知らない子供達・・・”と歌って青春を迎えた私の世代にとって、この60年間はそのように思えます。平和へのおこないが達成された経験を持たないからでしょうか・・・。“王は戦争を好む”それが答えかと思っています。また、“地球環境問題”に関して次々に生まれる新しい動きも同じで、虹色の言葉ばかりが繰り返されていると感じています。もしかして、これも”王“のなせる事なのか・・・と思う今日この頃です。

なにはともあれ、社会貢献となろう活動の場を持つ事は幸せなことに違いありません。今年は存分にそれを祝いたいと思っています。まずは建築士会加古川支部が快適で愉快的な場であること、それが輝かしい未来につながると信じて歩みたいと思っています。皆様、ぜひ、年度初めの活動となる通常総会～記念式典にご参加頂き、なお一層のご協力ご支援をお願い致します。そして、予定されている記念事業にもご参加のほど宜しくお願い致します。
(副支部長 吉備 考司)



昨年度第60回通常総会の様子

令和6年度 第61回 加古川支部通常総会

加古川支部通常総会は4月27日(土)、下記により開催いたします。

支部総会は1年間の支部活動を総括し、今年度の活動方針を決定する重要な場です。多くの方の

ご出席をよろしくお願いたします。

※ ご出欠の連絡は、同封のハガキにご署名のうえ、4月10日(水)までに、投函してください。

※ 委任状は出席の場合、無効といたします。

記

◎ 日時：4月27日(土) 12:30～13:15
(受付は12:15～)

◎ 場所：加古川商工会議所 4階 大会議室
加古川市加古川町溝之口800

※ 総会には同封の総会資料を持参して、ご出席ください。

以上

支部創立60周年記念式典

支部会員の皆様、加古川支部は本年6月20日をもちまして、創立60周年を迎えることとなりました。これもひとえに皆様のあたたかいご支援の賜物と感謝いたしております。

支部ではこれを記念して、下記により記念式典を開催いたします。

記念式典では60周年の節目を皆様とお祝いし、次の10年へ更なる発展を目指す第一歩にしたいと考えております。

皆様には何かとご多用のことと存じますが、本記念式典にご出席くださいますようお願い申し上げます。

※ ご出欠の連絡は、同封のハガキにご署名のうえ、4月10日(水)までに、投函してください。

記

◎ 日時：令和6年4月27日(土)
第1部 記念式典 14:00～14:45
(受付は13:30～)
第2部 記念講演 15:00～16:00
(受付は14:45～)
第3部 懇親会 16:30～18:30
(受付は16:15～)

◎ 場所：加古川市加古川町溝之口800
第1部 記念式典 加古川商工会議所
4階(大会議室)
第2部 記念講演 同上
第3部 懇親会 加古川プラザホテル
2階(鹿児の間)

◎ 会費：懇親会：6,000円

以上



新年会挨拶

新年会・新年ボウリング大会の報告

2024年2月3日 新年ボウリング大会(ニッケパークボウル)9名。新年会(肉バルグチ)を17名で執り行いました。

去年に引き続き頂いた優勝の景品(?)副賞の記事を頂き、大変光栄に思います。ありきたりの言葉で申し訳ないですが、メンバー、天候に恵まれて優勝させて頂きました。

今年は、支部設立60周年記念事業、青年部に於いては尾上、松風公園横に20年ほど前に青年部で建てた休憩小屋の屋根の葺替えと忙しくなりそうな予感がします。

去年入会していただいた岡本君もボウリング、新年会とどちらも参加してもらって、親部会の方々と談笑されていて、楽しい時間を共に過ごせたのではと思いました。

今回も同じことを書きますが、人生を楽しく豊かにする3つの間。それは時間、空間、仲間。

もっといろいろな事業に参加していただいて、加古川支部を盛り上げていきましょう。

竹下厚生委員長、永田君お疲れ様でした。

(副支部長 長尾 淳一)



新会員挨拶

青年部研修旅行報告

令和5年10月28日と29日に青年部で広島県へ研修旅行に行っていました。

全体の道程は、1日目が鞆の浦の街並み散策→尾道商店街→下瀬美術館見学→広島市内にて夕食・宿泊。2日目が平和記念公園・折鶴タワーの見学の後に竹原の街並み見学を予定していましたが、平和記念公園での滞在時間が押していたため、現地での解散となりました。

では、順を追ってもう少し詳しく報告をいたします。

まず初っ端から全体の予定とは別に、乗り合わせの都合により松本さんと太秦君と私の3名の合流場所が尾道となってしまいました。他の皆から鞆の浦での猫の写真を送ってもらい非常にうらやましい思いをしながら、他の皆よりも早く現地に到着したため、尾道商店街を散策しました。

尾道は鞆の浦同様に猫で有名なので猫好きとしては外せません。今まで何度か訪れた印象では普段商店街の猫はあまり店の外に出てこないのですが、今回は運よく猫を揉み撫でて堪能することが出来ました。合流時に皆に心配されましたが、猫アレルギーによる目のかゆみと止まらない鼻水は勲章のようなものです。

今回の一番の目的地である下瀬美術館は「「アートの中でアートを観る。」建築も楽しめる美術館」をコンセプトに2023年3月に開業。運営母体が建設資材メーカーの丸井産業(株)だったのは驚きました。

建築に携わる企業が建築家・坂茂氏と手掛けた建物、レセプション棟の集成材トラスの珍しさや、造船技術を活用した可動式展示室、本館のエントランス棟の柱の無い構造など、とても興味深いものばかりでした。

展示された美術品については、私の感性でも芸術の奥深さの上澄みをかろうじて感じる事が出来る、その…とても良いものでした。

旅行の楽しみと言えばホテルもその一つではありますが、今回非常に残念な事に、手配の関係上宿泊場所は皆と違いヒルトンホテルに泊まることは出来ませんでした。

また、同室者のイビキがもたらすによる不眠など、この件は格別の^{ぶんまん}怨懣と^{ちゅうちゅう}惆悵の念を深く心に刻み生涯忘れ得ぬと誓うとともに、今後の部屋割りには格別の配慮を切に願うばかりです。

2日目は予定通り広島平和記念公園・原爆ドームへ。慰霊の地として多くの人を迎えるために整えられた公園とその広さに感銘を受けました。ここでは、課外学習と思われる学生や、遠足であろう幼稚園児、国内外問わず観光として訪れた大人たち、平和を呼びかける人たち、目的は様々だとは思いますが、戦争と原爆が投下された事実がここで認知されているのだと感じました。

平和記念公園を見学した後は前述の通りその場

で解散となり、各々帰路へと就くことになりましたが、松本さんの提案で、四国へ渡り父母ヶ浜の夕映えを見に行くことになりました。到着時間も計ったかのように日没前の良い時間で、潮の引いた遠浅の砂浜と潮溜まりは、日本のユウニ塩湖と呼ばれるだけあり、非常に美しい光景を見ることが出来ました。

今回の研修旅行では歴史的な街並みと美術・建築の見せ方について、目の当たりにした印象深いものだったと思います。

最後に今回の研修旅行について、アドバイスや相談事を受けてはいましたが、ほとんど一人で動向・予定場所の選定や宿泊所の手配など、多大な労力で計画を進めてくれた永田会計に深く感謝いたします。(青年部副部長 東田 洋一)

ラクイチ活動報告

令和5年11月25日・26日の第20回 商工祭 カコガワラクイチに今年も例年通り金魚すくいとヨーヨー釣り、活動事業のパネル展示で参加しました。例年同様、日岡山公園で開催されました。

今年は例年よりさらに開催が遅くなったこともあり、2日共午前中はとても寒かったです。特に24日の夜にヨーヨーの作成を行いました。水を使う作業でなかなか辛い作業になってしまいました。そんななかでもたくさんの人の手伝いもあり、何とか準備も完了し、本番に問題なく行うことが出来ました。

また、楽市本番は寒だけでなく天候も時々、雨天のタイミングもあり、金魚すくいととはなかなか相性が悪い天候で全体的にお客さんが集まりにくかったです。

そんな中でも、瞬間的にはいっぱいのお客さんが集まって下さる忙し時もあり、その時間はみんなであまく回せて良かったと思います。

全体的には、収益的には少な目になってしまいましたが、来てくださったお客様も、手伝って下さった人も楽しんで頂けたかと思い、良かったと思います。(青年部副部長 太秦 篤史)

ええはなしやん

第78回

加古川支部 創立60周年記念式典 特別講演 (SDGs 講演会) 開催のご案内

これまでに捨てられるなどして海に流出した何千万トンのプラスチックごみの99パーセントの行方がわかっていません。

それはSDGsが広く世に知られる前の1990年代前半、株式会社 カネカ高砂工業所内の土壌から

偶然見つかりました。微生物の研究、開発を経て海水中でも生分解される生分解性バイオポリマーが実用化されています。

消えた99パーセントは何処に。海流に乗って世界中を漂い風波により破碎されてマイクロプラスチックとなったのか。漏れ出したプラスチックは食物連鎖を重ねて私たちの体内へ。ある物は海中を浮遊、海底に沈み、堆積して海の生態系、環境を脅かしています。

海の豊かさを守るため、生分解性バイオポリマーの可能性、今後の課題などを学び、私たちの生活行動を考えます。

◎ 講師：福田 竜司 氏 株式会社カネカ
Global Open Innovation 企画部
加古川支部では創立60周年を記念して上記の講演会を次のとおり開催いたします。
入場無料ですので、多くの方の参加をお待ちしています。

日時：令和6年4月27日(土)
15:00~16:00(受付は14:45~)
場所：加古川商工会議所 4階 大会議室
加古川市加古川町溝之口800

参加方法：事前申し込み不要、先着順70名まで
問合せ先：079-423-6350
加古川支部事務局(吉備建築室内)

2024.4.27(sat)

公益社団法人 兵庫県建築士会
加古川支部60周年記念



福田竜司氏
RYUJI Fukuda

1982年 兵庫県立姫路高等学校卒業
1982年 九州大学入学
1991年 九州大学大学院博士課程 修了
1991年 藤田化学工業株式会社 入社
(現、株式会社カネカ)
主に高分子材料の研究開発を担当
2015年 カネカ生分解性バイオポリマー - Green Planet の加工研究を担当
2017年 カネカ生分解性バイオポリマー - Green Planet の市場開発を担当
2022年より現職

2024年4月27日(土)
時間：15:00~16:00(受付14:45~)
入場無料(定員70名 当日先着順)
会場：加古川商工会議所4階大会議室
加古川市加古川町溝之口800
主催：(公社)兵庫県建築士会 加古川支部
お問い合わせ 079-423-6350
加古川支部事務局(吉備建築設計室内)

編集後記

本年度は支部創立60周年です。総会終了後、記念式典ならびに記念講演会そして懇親会が執り行われます。場所は加古川商工会議所の4階大会議室で総会・記念式典・記念講演会そして加古川プラザホテルで懇親会が行われます。

多くの皆様が参加することで、より盛り上がり、記念すべき年になるだろうなと思うとワクワクしてきます。

さて、今回の記事ですが、本来78号に記載すべき、東田さんの青年部研修旅行報告・太秦さんのラウイチ活動報告が今号になってしまいました。大変申し訳なく思っています。

新年会・新年ボウリング大会の報告は昨年も長尾副支部長でした。つまり、2年連続ボウリング大会で優勝されたということです。光栄と書いていただいたので、来年も優勝を期待しております。

『ええはなしやん』に60周年記念講演会のことを載せさせていただきました。

先日、インターネットで見た記事に、「国内で複数の人から採取された血液に『ナノプラスチック』と呼ばれる直径千分の一ミリ以下の極めて小さなプラスチック粒子が含まれていることが、東京農工大の高田秀重教授らのグループの分析で明らかになった。このうちの一人を詳しく調べると血液や腎臓、肝臓などから、プラスチックに添加する紫外線吸収剤やポリ塩化ビフェニール(PCB)の有害化学物質も見つかった」また、「含まれる有害化学物質を同時に検出した報告は世界でこれまでなく、人体への蓄積の実態が示された。ナノ

プラスチックは広く環境中に存在し、粒径が大きなもの比べて体内に取り込まれやすく、生物への影響がより強いとされる」と書かれていました。

今こそ、私たちの生活習慣や行動を変えていかなければならないと教えてくれているように感じます。

記念講演会を通じて、私たち建築士が何を学ぶのか、自分事としてどんな生活をし、どう環境を守っていくのか、そんな問いかけになれば、60周年記念講演会開催の意義が出てくるように思います。

多くの会員の皆様の参加で、総会・60周年記念式典・記念講演会そして懇親会を盛り上げ、時代を拓いていきましょう！

時代を拓くとは自分を拓くこと、自分の運命を拓くことである。一つの時代に対し、自分の運命を拓いていける人にして、初めて時代を拓くことができる。

では、時代を拓くリーダーの条件は何か。月刊『致知』の中で下記のように書かれています。

一は時代の流れを読み、方向を示すこと。

二は必死で働くこと。

三は自分を磨き続けること。

四は集団を幸福に導くこと。

五は犠牲的精神を持つこと。

六は宇宙の大法を信じ、畏敬し、その大法の則り、行動すること。

この条件を徹底、反復、実行する人のみが天から力を授かり、時代を拓くとあります。

『時代を拓く人』でありたいですね。

(広報委員会委員長 高橋 賢吉)

※同封のハガキに出欠の返事と委任状にご署名(出欠に関わらず)をお願い致します。

※「出欠委任状ハガキ」は4月10日までにご投函ください。

連絡票

メールかFAXで送付してください。(郵便も可)

※住所・連絡先等の変更は必ずお知らせ下さい。(個人情報保護法に基づき管理致します)

--

公益社団法人 兵庫県建築士会 加古川支部

事務局/吉備建築設計室内 Tel,Fax 079-423-6350

支部長 小西 敏文 直通 TEL:090-7889-2626

E-mail:kentikusikai.kakogawasibu.2019@gmail.com

